

小学生版

# あたらしい児童書 NO. 307 2025. 5. 20

遠軽町図書館  
遠軽町大通南4丁目  
TEL42-3632  
FAX49-2102

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

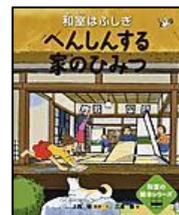
## 『どろぼうジャンボリ』阿部 結／作

・町みんなが眠る夜、風変わりなどろぼうジャンボリは仕事にとりかかる。いったい、何を盗むと思う？ ジャンボリが集め続けた宝物が、ある時、町に小さな奇跡を起こし…。(3～5、小初)



## 『へんしんする家のひみつ』上西 明／監修・文

・農家の家と町家の家、2つの和室の家を描き、和室のくらしかたと、和室の家の特徴である「変身する和室」の秘密を紹介する。日本の伝統文化である和室を楽しく、わかりやすく伝える絵本。監修者による解説付き。(小初)



## 『ペンギンのトビオ』齊藤 倫、うきまる／作

・ペンギンのトビオは、うまれてはじめて、飛行機にのって旅にでかけることにしました。きっかけは、ある日とどいた1通のがみ。その送り主、北極にすむシロクマに会いに行くことにしたのですが…。(小初)



## 『大ピンチずかん 3』鈴木 のりたけ／作

・ケチャップがとんだ。トイレがつまった…。こどもが出あう世の中の様々な「大ピンチ」を、大ピンチレベル順に紹介。大ピンチのうっかり度を表す「うっかりメーター」、大ピンチを乗り越える方法なども掲載。(小初)



## 『逃げた王子と14人の捜索隊』萩原 弓佳／著

・とある惑星で王子が家出!? その行き先は地球。紀元前300年のオーストラリアから、2020年代の韓国まで、14人の捜索隊がタイムマシンで地球上の各国を大捜索! SFあり、冒険あり、謎解きありの連作短編集。(小中)



## 『鬼日和』畑中 弘子／作

・赤い蛍に誘われて、記憶をなくした少女が迷い込んだのは、おそろしいほどに美しい鬼の世界…。鬼の少年と友情を結びながら、異世界で自分を取り戻していく少女の冒険ファンタジー。(小中)



## 『私立探検家学園 6』齊藤 倫／著

・松田コロンは、私立探検家学園の2回生。学園をやめようと思った矢先、突然の<実習>で19世紀末のロンドンに! そこで<スティーマーズ>と名乗る科学者のヒース、人造双子、シャーロック・ホームズらに出会い…。(小中、小上)



『死神短歌』 神戸 遙真／著

・人は三十一文字に想いをこめて、歌にする。魂は消えても、文字は、歌は、のちの世に残りつづける。さあ、消えゆく魂に、とっておきの歌を贈ろう。1話5分で読める、短歌にまつわるショートショート全10篇を収録。(小中、小上)



『妖怪一家九十九さん外伝』 富安 陽子／作

・買ったばかりの車でドライブに行くことになった九十九さん一家。ところが、ヌラリヒョンパパの運転を無視して、車は勝手に動き出した!? なんと車には猫の幽霊がとりついているようで…。人気シリーズの外伝。(小中、小上)



『白い虹を投げる』 吉野 万理子／作

・同じ野球チームでがんばっていた、ヤヤと葉央。ふたりはメールを送り、たがいに励まし合う。「キャッチボールクラシック」という大会を知り、そこで再会することを誓うが…。少年・少女の友情ストーリー。(小上)



『ぼくの色、見つけた!』 志津 栄子／作

・「色覚障がい」を隠して生活する信太郎。母親は試すようなことをしてくるし、症状を知らない級友から似顔絵の唇を茶色に塗ったことを馬鹿にされ、自信を失ってしまう。だが、担任の先生が信太郎に向き合ってくれて…。(小上)



『Q世代塾の問題児たち』 石川 宏千花／作

・世の中のことをもっと知りたい、と願う空乙は、受験や成績アップのためでない希望どおりの塾を見つけ、通うことを決める。先生は、高校生。生徒は、子どもから高齢者までいて…。ユニークな設定で、少女の変化、成長をえがく。(小上)



『ぶたのしっぽ』 海緒 裕／作

・大好きな編みぐるみ作りという趣味を「男らしくないから」と隠している中学2年生の豪太郎。だが、「積極的不登校児」で「ヤングケアラー」である篠田と出会い、「ふつうって何だろう」という疑問に変化が生まれ…。(小上、中)



『アリーチェと魔法の書』 長谷川 まりる／作

・何の変哲もない町の本屋に、夜になると魔法使いたちが訪れる。店の奥には、この世に一冊しかない<魔法の書>が保管されている。本屋の娘アリーチェが、ある日、訪ねてきた魔法使いに「魔法を教えてください?」と言うと…。(小上、中)



『サヨナラは言わない』 アントニオ・カルモナ／作

・12歳のエリーズのパパはフランス人、ママは日本人。4年前にママが死んでから、パパは心を閉ざしたまま。家で日本語をしゃべるのは禁止。日本のアニメを見るのも禁止。でもある日、日本からソノカおばあちゃんが来て…。(小上、中)

